

シーシージェイだより

Cardiovascular Hospital of Central Japan



2003.01.01



医療法人 北関東循環器病院

〒377-0061 群馬県勢多郡北橋村下箱田740
TEL 027-232-7111 FAX 027-233-9092
<http://www.ccj.or.jp>

北関東循環器病院理念・行動指針

理 念

- ・患者様中心の医療
- ・循環器疾患を中心とした全人的医療、医学

行動指針

- ・私たちは、日々進歩する医療・医学の自己研鑽に努めます。
- ・私たちは、生命を尊重した患者中心の医療に努めます。
- ・私たちは、医療倫理に基づき、患者に信頼される医療の提供に努めます。
- ・私たちは、患者の権利を尊重し、思いやりの心を持って公平な医療の提供に努めます。
- ・私たちは、地域に根ざし、広く情報を発信して適切な医療の啓蒙に努めます。
- ・私たちは、循環器疾患以外の地域医療にも貢献するように努めます。
- ・私たちは、地域の医療機関との密接な連携を図り、開かれた医療に努めます。
- ・私たちは、次世代の人材教育を常に心がけるよう努めます。
- ・私たちは、循環器専門病院として、誇りを持ち病院職員全体のチームプレイを基盤に業務の提供に努めます。

新年挨拶

年頭にあたり
開院15周年を迎えて



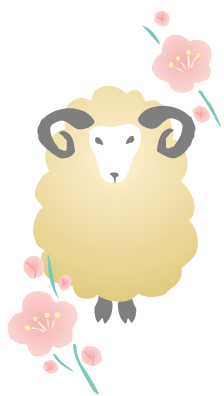
21世紀に入り、早くも2年が過ぎました。一昨年、つまり21世紀に入ったその年の9月11日に世界を震撼させる事件が起きました。ニューヨークの巨大なビルに旅客機が突っ込むというあのテロ事件は、あらゆる社会に大きな変革を迫る新しい激しい世紀の始まりを象徴するかのよう出来事でした。この事件を契機に世界はいろいろな意味で一変したように思います。

医療にもさまざまな問題が明るみに出て、特に昨年は医療事故に絡む問題が噴出しました。今年も、年金問題と同様に医療保険に関する

ることが社会問題として大きく日常生活に影響を与えはじめようとしています。そのような中、当院はこの4月に15周年を迎えます。この15年間にはさまざまなことがありましたが、一歩ずつ着実に階段を上るように心がけてきました。お陰様で、開院当初からその理念の一つとしておりました循環器疾患を中心とした地域医療というものがだいたい根付いてきたのではないかと思っております。

まだまだ充実、拡大を計らなければならぬことが多くあり、この厳しい経済、社会環境の中ではありますが、より良い医療を目指していくには職員一同が一丸になって努力をしなければなりません。また、より良い病院にしたいには職員だけでなく、患者様をはじめそのご家族、地域の住民の方々などの協力なしには出来ません。是非とも、そのために多くの皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

〔院長 市川 秀二〕



診療部の抱負



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。

今年も新年早々に雪が降り、その後も寒い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。ここでは新年の挨拶のかわりに愛に関する話を紹介させていただきます。

これは哀れな鶴の話です。鶴には羽が生えております。しかし手がありません。あるとき二羽の鶴が大空から舞い降りて、浜辺に降り立ちました。この浜辺にはたいへんおいしそうな貝が散乱してました。二羽の鶴はともお腹がすいていたので、その貝殻をこじあけて、なんとかして食べたいものだと思えました。その貝はまだ生きていたので、鶴はその貝殻をこじ開けて中の身を食べる必要がありました。しかし、どうしても

この作業がうまくいかないのです。長くちばしを差しこんで、そして貝殻をこじ開けるところまでいくのですが、最後に、その貝の身をつまんで外に引き出すことが、どうしてもできないのです。足で押さえてやってみようとするのですが、どうしてもバランスがうまくとれない。足ではうまく貝殻をはさめなくて、そしてちばしにのみを頼るのですが、そのちばしに貝殻のすきまに割って入ったと思っても、どうしても貝がツルツと滑って食べられないのです。こうして二羽の鶴は、一日じゅう貝を食べようと努力していたけれど、むなしく貝殻のまわりをくちばしでつつくだけで食べることができず、ついに飢えて死んでしまったのでした。このときに、この長くちばしを持つている二羽の鶴が、お互いに協力し合うことができたならば、彼らは死ぬことがなかったと思えるのです。一羽が貝殻にくちばしをつつこんで、その貝の口を開けたときに、もう一羽が、そのくちばしでその中の身を食べたら、貝はみごとに食べられてしまったはず。そうしてお互いに、そういうことをくり返せば、貝をあますところなく食べることができたと思えるのです。ところが、自分が貝の殻を

こじ開けて相手に食べさせるということを、どうしてもその鶴たちは思いつかなかったのです。そうして、お互いに自分一人が中の身を食えることはかなりねらっていた、とうとう食えることができなかつたという話です。

この話を読んでバカバカしいと思われる方は数多くおられることでしょう。しかし、似たようなことは人間の間にもあちこちで見られます。お互いに助け合うことができたかどうかを判断することができなかにどうしてそれをしなかつたか。自分が欲深い利己主義の鶴になつていないか自戒したいと思えます。他人を思いやる心が人生を送る上で大切であることを再認識させる話で新年の挨拶に代えさせていただきます。

【副院長 高山 嘉朗】

ME科平成15年度の抱負

明けましておめでとうございます。

まず抱負をお話する前に我々ME科の業務内容についてお話させていただきます。私達は臨床工学技士という国家資格のもと病院内の生命維持管理装置の操作及び保守点検を業務としています。詳しく書きますと主なものに心臓手術の時に使用する人工心肺装置や血

液透析治療での人工透析装置、呼吸不全に陥った方に使用する人工呼吸器装置などの担当者です。

現在スタッフは3名で男性1名、女性2名の構成になっています。

巷では、ME機器の故障や誤作動などにより医療事故が騒がれておりますが当院ではそういった事が無いよう日々、点検及び確認を行っております。又、臨床業務については血液透析室以外の手術室、集中治療室及び病棟などでは裏方的業務の為、患者様とお話する機会が少ないですが点検と同様に事故の無いよう安全な操作を心がけて行っております。

年度が変わつての特別な抱負はありませんが安全第一とし医療事故防止を心がけ日々業務を行っていく所存です。

【ME科 山中 克美】



放射線部紹介



平成元年の開院以来 今年で15周年を迎える事ができました。

この間、著しい社会情勢の変革と共に、医療に対する患者様のニーズも高まっています。このような現状において医療の一翼を担っている私達は専門性を発揮し、患者様から見える医療技術を実践していくための更なる研鑽をする意気込みです。

皆様のご理解とご協力をお願いして年頭のご挨拶といたします。

〔放射線部部长 高橋 弘光〕

新年明けましておめでとうございます。

私たち放射線部でもR I, C T, 血管撮影、一般撮影処理装置など

の医療機器は開院当初のものから新しく換えました。これにより、より多くの情報が得られるようになりました。また最近では患者さんも増え、ロビーや廊下で座れないほどになることがあります。検査を受ける人にはできるだけ待たせないよう、迅速にかつ間違えのないよう取り組んでいきたいと思えます。

〔放射線部 桑原 尚美〕

新年にあたり

明けましておめでとうございます。

昨年は、検査室の改装工事があり皆様方には大変ご迷惑をおかけ致しました。お蔭様をもちまして検査室もリニューアルし、かねてからの念願でありました採尿室の設置位置の改善および男女の別別化、採血スペースの確保、重症な患者さんがベッドのまま入室できる入口、広い総合受付、ゆとりのある個々の検査スペースなど、以前に比べより機能的かつ快適な検査環境が整いました。また同時に新検体検査システムを導入し緊急に検査された結果を外来の診察室や病棟のナースステーションにて直接閲覧できるようになり診療の向上に貢献できるものと考えてお

ります。

スタッフ一同、この検査環境を活かすべく患者様中心の医療を自覚し思いやりのある態度や言動で質の高い検査を提供する所存です。検査部への皆様のご意見やご要望がありましたらご遠慮なくお伝え下さい。

皆様のご健康（の回復）とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶いたします。

〔検査部次長 高田 裕之〕



平成15年度の抱負

新しい年を迎えて、早いもので当院も15年目に入りました。2月には病院機能評価機構の受審も控えており、今年も忙しい年になりそうですが、以下に今年の薬剤部の抱負を述べます。

外来患者数は開院当初から増加し、薬剤部ではここ数年、外来でのお薬待ち時間が長くなる傾向にありました。当院は循環器専門病院ということもあり、薬の種類も多く、調剤に時間がかかりますが、これからもお薬の待ち時間短縮に努力したいと思います。

患者様が安心して薬を飲めるように、外来でのお薬の説明や窓口対応、病棟での服薬指導にも積極的に取り組みたいと思います。特に病棟へは時間的な制限もありますが、服薬指導は薬剤師の責務です。ので出来るだけ多く実施したいと思えます。

また、臨床試験（治験）にも積極的に関与し、社会的貢献にもなる新薬開発に協力したいと思います。

以上簡単ですが、今年もよろしくお願致します。

〔薬剤部部长 坂口 一夫〕



平成15年度看護部紹介



年が変わり看護部を引継ぎ4年目に入りました。各職場は師長、主任、看護師、看護補助者の構成で医師及び他職種間とのチーム医療・看護を行なっています。看護部の理念としては「豊かな心と感性をもち、人間尊重に基づいた質の高い看護を提供する」ことを基本に、患者様の個性を重視した看護サービスに日々努めています。また、退院時に「退院される患者様へ」のアンケート調査を実施しています。その中から沢山の率直なご意見が私達看護部に届き

ます。おほめの言葉、感謝の言葉、お叱りの言葉など、入院体験からの心の声だと思っております。その内容の一つひとつを看護部全員で大切に受けとめて、患者様が今、何を求めているかを考えながら日常業務の中で改善に取り組んでいます。今後、更なる北関東循環器病院に入院されました患者様が満足したケアが受けられて、一日も早い社会復帰を念じております。

〔看護部長 高橋 征子〕

2階病棟

2階病棟は、急性期の循環器疾患の患者様を対象とした病棟です。集中治療室（ICU・CCU）6床、中間重症病室22床で28名の患者様の入院が可能です。看護スタッフは、師長を柱として主任1名、看護師20名、看護助手5名の27名で患者様のサポートをさせて頂いています。入院されている患者様は、急性心筋梗塞、心不全、大動脈解離、心筋症、心臓・血管の手術後の患者様です。また、2階病棟は夜間の緊急外来、緊急入院の対応も行っています。緊急入院に対応するためには常に空きベッドを確保する必要があります。空きベッドを確保するため急性期を過ぎた患者様には3階、4階病

棟に移動をお願いしなければならぬ場合もあります。患者様にご迷惑をかけることとなりますが、2階病棟の業務をご理解とご協力をお願い致します。

〔2階病棟 主任 高橋 伸夫〕



3階病棟を 紹介させて頂きます

病床数43床、看護職員数23名、3交代2人夜勤体制で日夜患者様のお世話をさせて頂いております。看護界も最近男性の看護師が増え3階病棟でも3名の看護師が活躍しており、そのやさしさと頼もしさに、感謝の声がたくさん寄せられております。当科の特色は専門である循環器疾患の検査、治

療の患者様が多く、なお閉塞性の動脈疾患の為、各地より治療を求めて入院して下さいっております。私たちは病院の理念に基づき、患者様が快適な入院生活が過ごせますよう受持ち制のもと入院から退院迄、一人一人の患者様のニーズに答えられるよう日々研鑽しております。更により良い看護サービス提供出来る事を目標とし、新年の挨拶とさせて頂きます。

〔3階病棟 師長 石井美津子〕



平成15年度 4階病棟の取り組み



4階病棟を紹介いたします。ベッド数は43床で糖尿病の教育入院をはじめ、心臓カテーテルの検査入院、外科手術入院、その他内科疾患入院となっています。スタッフも個性に富み、明るさをモットーに患者様の看護をさせて頂いています。今年各個人が年間目標を設定、計画を立て取り組みをしていくことを考えています。

各自が職業意識に磨きをかけ、活き活きとした看護展開ができる

ようにしたいと思えます。また、患者様のサービスと接遇（言葉づかい、態度）に重点をおき入院生活が心地良く過ごせるよう援助させて頂きます。

4階病棟から見ると、景色はすばらしく南に前橋から遠くは伊勢崎が開け、西側には上毛三山の一つ榛名山、そして雪をかぶった武尊連山と患者様の心を癒す環境の良さは抜群です。この素晴らしい環境と共に看護内容も充実できるようにスタッフ一同努力したいと思います。

〔4階病棟 師長 原 テツ子〕

外来紹介



新しい年を迎えられた事を感謝

いたします。

外来の玄関も変わり、いやしの空間に少しでも近づいているでしょうか。だんだんに自然な空間になれると思います。

昨年は待ち時間ボードも、スタッフ全員で新しく作成し、少しでも待ち時間の苦痛の緩和につながるものが出来たら良いですが……。今年も外来一同明るく笑顔と思いやりを目標に外来看護に励みたいと思います。今後とも宜しくお願ひ致します。

〔外来師長 萩原 ひろ江〕

15年新年によせて

明けましておめでとございます。皆様、心新たに新年をお迎えのことと存じます。

昨年は、4月に診療報酬の改訂、そして10月には医療保険制度の改正で高額医療費や老人医療費の負担額の変更など私共事務職員にとりまして例年になく大きな変化があった年でありました。ますます複雑となり皆様にはご迷惑をおかけした事もあったようですが、ご理解をいただきなんとか大きな混乱もなく過ごす事ができたと感じております。

また「患者さんの声」などでは、

厳しいご指摘や暖かいお言葉をいただきありがとうございます。皆様のご意見に反省し、時には励まされた気がいたしております。昨年の成果や経験をふまえて皆様の期待に応える事のできるよう、一同頑張つてまいります。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

〔医療事務部次長 竹内 純一郎〕



平成15年度職場の抱負

医療ソーシャルワーカーとして、当院に入職してやっと一年が過ぎました。一年経った今でも先生や師長から患者様の相談依頼があり、患者様と面接すると、「このような相談をする人がいたんですか」と言われることがあります。

今年の抱負として、まずできるだけ多くの医療ソーシャルワーカーについてご理解とご利用していただけるように努力していきたいと思っております。それには、具体的にどんな仕事をしているのか簡単に説明します。医療ソーシャルワーカーは福祉の専門家です。現在は医療制度や福祉制度がどんどん変わっています。そしてその内容は解かりづらく利用する方はどこに相談したらよいのかわからない場合も多いと聞きます。また、それだけでなく、患者様の抱える問題は、実に様々です。経済的な問題、心理的な問題、家庭的な問題、介護のことなど。お困りになった時は、何時でも相談に来ていただきたいと思います。何か良い方法はないか、患者様と一緒に考えて患者様ができるだけご自分の望まれる生活を送れるよう、援助させていただくのが医療ソーシャルワーカーの仕事です。

ルワーカーの仕事です。

【社会福祉相談係 坂坂 まち子】



患者様のご意見

この病院玄関前は車がいつぱいで入口もよくわからない。線であって困るのは何ですか？他の病院でこんなところはありますか？よ。病人が降りたらどけてもらって下さい。

おっしゃるとおりです。私共も困っております。このようなお声は、何度もお聞きしています。駐車枠のない所に駐車してもらっては困ります。「一台くらい」とか「他の車もとめてあるから」でな

く、次の方のために移動して下さい。患者様の乗降以外は停車禁止です。患者様の乗降が済み次第、車を直ちに駐車場に移動して下さい。正面玄関前に長く駐車している車には、張り紙をしてお願いをして来ましたが、ゼブラゾーンの周辺は乗降のために常に空けておいて下さい。ご協力お願いします。

2階病棟 平成14年

正月早々からお医者さん、看護婦さん、他の皆様方には心から敬意を表したいと思えます。

それとは別に患者・見舞い客のマナーの悪さには腹立たしい限りです。特に見舞いに来た人には「見舞客心得」を書いて渡してください。我儘な患者の要求に暖かく接して下さる皆様に大変頭が下がるばかりです。

ご意見ありがとうございます。患者様中心の医療・看護をモットーに皆様の援助をさせて頂いております。お見舞いの方のご指導も私達の役目ですので、これからは気を付けて注意をしていかなくてはと思っております。どうぞ、お気づきの事が御座いましたら今後もお話ください。

3階病棟 平成14年11月30日

身障者トイレの便座の前に水道器具が設置されていますが、今未使用となつていますね。もう少し先に設けたら如何か、前かがみになると頭があたるような感じがします。

ご指摘の通り現在は使用しておりません。トイレ使用時、立った座つたりするのに邪魔に感じましたので、取り除く事に致しました。無い方が患者様の安全がはかれ、少しでも広いトイレをご使用して頂くことができると思えます。

外来 平成14年11月16日

診察進行状況表で11時現在のマークが13時10分になつてもそのままでした。30分位ならわかりますが、もう少し早く目を付けてやってください。ご多忙とは存じますが13時過ぎに来た人は11時のままかと思えますから。

大変ご迷惑をおかけ致しました。リアルタイムに表示マークが動くようタイマーを活用して気をつけてみます。今後、このような事がありましたら、遠慮なく教えて下さい。ご指摘ありがとうございます。

外来診療予定表

			月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
外 来	午前	初診	金井	高山	熊倉	笠原	岩崎	遠藤 伊藤
		再診	市川 戸島 伊藤	村田 濱田 戸島	岩崎 笠間	熊倉 高山 村田	市川 小谷野	金井 直田
		特別		皮膚科外来 眼科外来	糖尿病外来 腎臓外来	呼吸器外来	腎臓外来	脳外外来 婦人科外来(第4週) 眼科外来
	午後	初診	高山	笠間	戸島	伊藤	金井	当直医
		再診	高山 熊倉 岩崎	市川 笠間	高山 濱田	伊藤	熊倉 金井 荻野	市川 高山
		特別		脳外外来 呼吸器外来 眼科外来	ペースメーカー 外来(第4週)	婦人科外来	糖尿病外来 整形外来 (第4週)	

患者様の権利について

北関東循環器病院では患者様の権利を尊重し、患者様と当院の信頼関係を深め、より良い医療を受けていただくために、以下の基本姿勢を掲げます。

1 個人尊重の権利

患者様は、病を自ら克服しようとする主体として、その生命・身体・人格を尊重される権利があります。

2 平等な医療を受ける権利

患者様は、その経済的社会的地位・年齢・性別・疾病の種類などにかかわらず、平等な医療を受ける権利があります。

3 最善の医療を受ける権利

患者様は、適切で最善の医療を受ける権利があります。

患者様は、必要なときはいつでも、医療従事者の援助・助力を求める権利があります。患者様は、医師および医療機関を選択し、また転医する権利があります。転医に際しては、前医の診療に関する情報及び記録の写しの交付を求める権利があります。

4 知る権利

患者様は、検査および治療の目的・方法・内容・危険性・予後について十分な説明を受け、理解・納得する権利があります。

5 自己決定の権利

患者様は、十分な説明を受け、治療を受ける権利と治療を受ける事を拒否する権利があります。

6 プライバシー等の機密保持を得る権利

患者様は、治療で医療者が知り得た、すべてのプライバシーの機密保持を得る権利があります。

以上、患者様の権利を守り、より良い医療を提供させて頂くためには、病院の努力だけでなく患者様やご家族のご理解・ご協力をお願い申し上げます。